

社会階層と過去 12 か月の現金収入の状況と一人当たり GDP の関係

2018年8月19日 未来実感ラボ 池田誠

一人当たりGDPは、国の人々の豊かさを表す指標ではないってことを知っていますか？

「過去 12 か月間に現金収入が無かったことが全く無かった人々」、即ち、多少なりとも現金収入があった人々（人口の5割弱）との相関が 0.69 と最も高いので、**人口の約半分の人々の豊かさを示す指標**ということですね。

社会階層で見ると、**たった2割程度の中流の上という階層に属すると考えている人々の豊かさを示す指標**ということになります。

社会階層と過去12か月の現金収入の状況と一人当たりGDPの関係

	回答割合	一人当たりGDP (千ドル)との相関係数	
上流階層	1.8	0.079	貧しい国にもいるので相関は低い
中流の上階層	18.9	0.526	GDPと関連するのは人口の2割程度
中流の下階層	34.7	0.064	
労働者階層	28.3	-0.267	労働者階層とは逆相関！
下流階層	13.4	-0.470	下流階層とは逆相関！！
無収入が頻繁にあった	9.8	-0.446	逆相関
無収入が時々あった	20.5	-0.664	逆相関
無収入が殆ど無かった	20.3	-0.573	逆相関
無収入が全く無かった	47.6	0.689	これが一番高い相関！

資料：世界価値観調査WVS Wave6(2010-14)と世界開発指標WDIの2010年の値から
未来実感ラボ作成